

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公開番号】特開2008-223414(P2008-223414A)

【公開日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-038

【出願番号】特願2007-66820(P2007-66820)

【国際特許分類】

E 04 H 17/14 (2006.01)

E 04 H 17/16 (2006.01)

E 06 B 9/01 (2006.01)

【F I】

E 04 H 17/14 102 B

E 04 H 17/16 101

E 06 B 9/01 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月25日(2009.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上下方向又は左右方向に平行に配設される構造材と、該構造材の正面にその長手方向に所定間隔で平行に配設される格子材とを備えた目隠しフェンスであって、上記格子材は、形材からなる一対の側枠と、両側枠間に介設される透明又は半透明な光透過材とを具備することを特徴とする目隠しフェンス。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上下方向又は左右方向に平行に配設される構造材と、該構造材の正面にその長手方向に所定間隔で平行に配設される格子材とを備えた目隠しフェンスであって、上記格子材は、形材からなる一対の側枠と、両側枠間に介設される透明又は半透明な光透過材とを具備することを特徴とする。